

鈴鹿川 派川 内部川 洪水

A close-up photograph of a red emergency preparedness poster. The top half features large white Japanese text: '自分の命は自分で守る' (Save your own life) and '状況に応じて避難所に限らず柔軟に避難・対応' (In various situations, respond flexibly, not limited to evacuation centers). The bottom right corner contains smaller text: '知人宅等(浸水のおそれがある場合)を避難先を考える' (Consider evacuation sites such as family homes, etc., where there is a risk of flooding).

命を守る行動を決断できるの
あなただけです!

マップで探して記入しましょ

水しない避難所や親戚・友人宅など

後もとどまる 高くて丈夫な建物

洪水から命を守る

早い段階で安全な場所へ避難することが大原則ですが、逃げ遅れてしまった場合には、その場その時の状況で最も安全と思われる場所で身を守りましょう。

命を守る行動

警戒レベル3 高齢者等避難 や 警戒レベル4 避難指示 で 危険な場所から必ず逃げる！

逃げ遅れてしまったら…

命を守る行動

浸水後など、逃げ遅れてしまったら 浸水後もとどまるる高くて丈夫な建物へ

台風の接近や低気圧などによる大雨が予測される場合には、浸水のおそれがない地域へ早めに避難しましょう。親戚や知人宅などへの避難も選択肢の1つです。

避難先として 浸水しない避難所や親戚・友人宅などを探しましょう。

高齢の方、避難に時間かかる方は、
警戒レベル3 高齢者等避難で避難を開始

余裕を持って 早めに避難しましょう
夜中は音も聞こえづらく、危険です。
台風の接近や、大雨が降り続く予想の場合は、暗くなる前に早めに避難しましょう。

原則徒歩で避難

車での避難は、渋滞の発生を招き、緊急車両の通行の妨げになりますので、原則徒歩での避難を心がけてください。

危険な箇所 マンホール

水が濁って足元が見えにくくなります。
もしフタが外れていると、マンホールや排水溝などに転落して危険です。

危険な箇所 アンダーパス

高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。

危険な箇所 川の近く

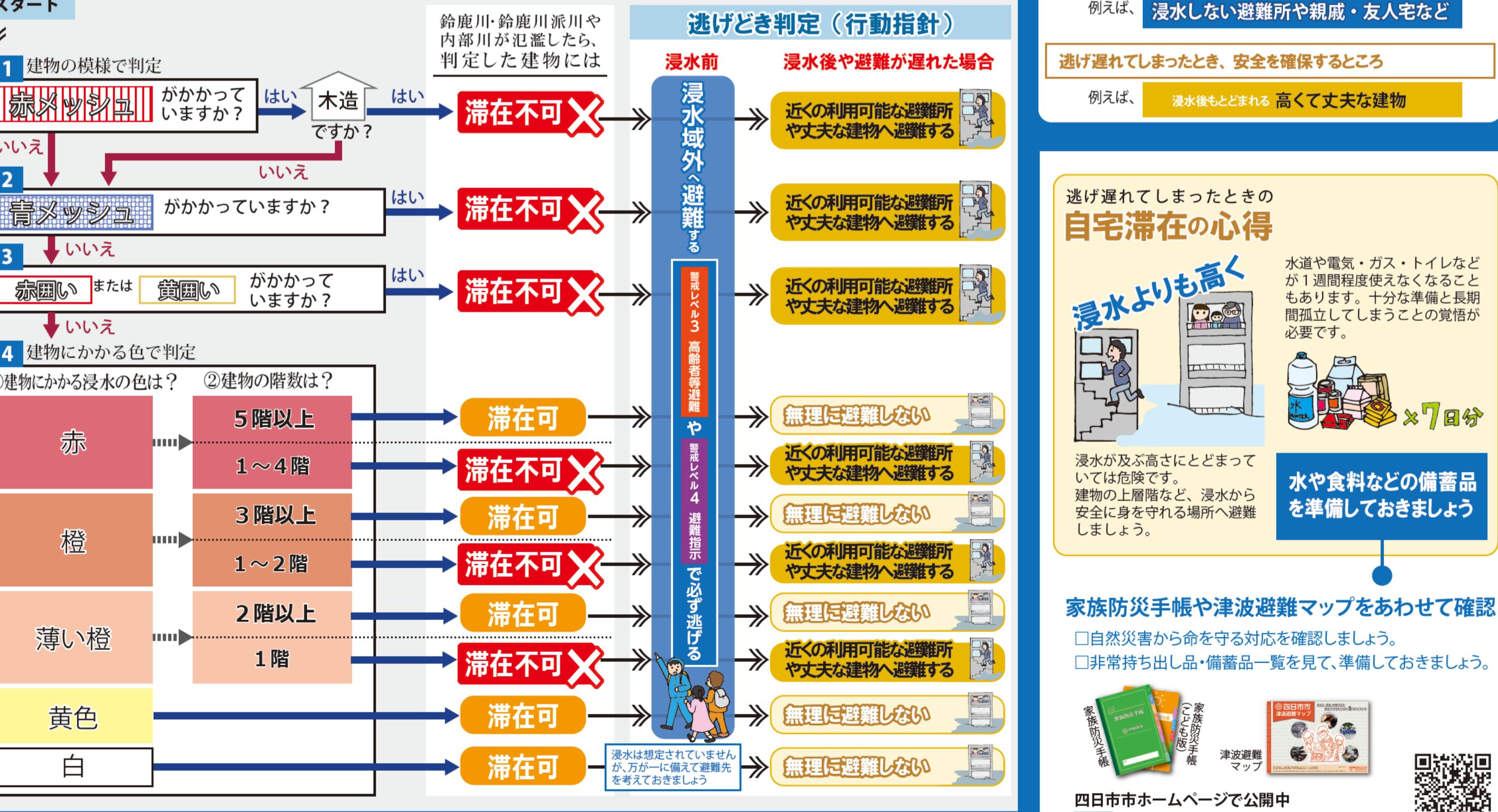
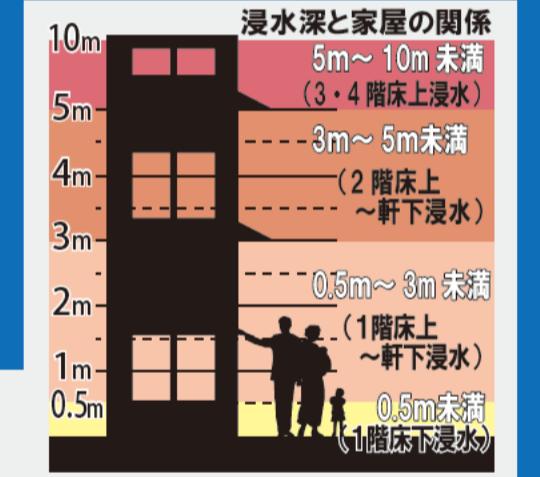
氾濫の流れの勢いが強く、建物が壊れたり、流されたりするおそれがある区域もあります。
避難情報を聞いたら直ちに避難しましょう。



「げどきマップ判定フロー」

逃げどきマップで、逃げ遅れたときに自宅等の高い所への避難が可能か、前に避難所など自宅外への避難が必要かを判定しましょう

宅などの建物にかかる模様と浸水の色や、建物階数や構造で判定しましょう



逃げ遅れてしまったときの 自宅滞在の心得

水道や電気・ガス・トイレなどが1週間程度使えなくなることもあります。十分な準備と長期間孤立してしまうことの覚悟が必要です。

浸水が及ぶ高さにとどまつて
いては危険です。
建物の上層階など、浸水から
安全に身を守れる場所へ避難
しましょう。

×7日分

家族防災手帳や津波避難マップをあわせて確認

□自然災害から命を守る対応を確認しましょう。

